

厚生労働省
群馬労働局発表
令和元年5月31日

【照会先】

群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 大村悦男
主任産業安全専門官 塩野 泉
監督官 杉本 彩矢香
(電話) 027-896-4736

STOP！転倒災害

～6月は転倒災害防止強調期間です！～

群馬県内においては、全産業の労働災害発生件数の約4分の1を占める転倒災害の減少を目的として、平成27年1月に「群馬労働局STOP！転倒災害プロジェクト2015」を立ち上げ、転倒災害防止対策の取り組みを開始しました。平成28年以降は通年で、継続して「STOP！転倒災害プロジェクト」を実施することとし、特に1年のうち転倒災害の多発する1月～3月と安全週間の準備月間である6月を「転倒災害防止強調期間」としています。

このため、来月は安全週間説明会、個別指導、災害防止講習会等あらゆる機会にリーフレットの配布等による転倒災害防止の周知・啓発活動を実施します（参考資料：「STOP！転倒災害」）。

〔転倒災害の特徴〕

- ・事故の型別では、平成17年以降、毎年、転倒災害がトップとなっており、平成30年も休業4日以上労働災害の20.7%を占め、ワースト1位となっている。
- ・業種別では、製造業141件（28%）、保健衛生業88件（17.5%）、商業69件（13.7%）、接客娯楽業59件（11.7%）で、これらの業種で全体の7割以上を占める。
- ・年齢別では、高年齢労働者（50歳以上）が7割近くを占める。
- ・転倒災害の約6割は、「通路」（46.8%）や「作業床」（13.1%）で発生している。
- ・転倒の原因は、通路や作業床、地面等が水、油、雪等で濡れていることによる滑り（39.7%）、通路等に置いてある物等へのつまずき（31.0%）で7割以上を占める。

〔転倒災害防止対策のポイント〕

- ・4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底（歩行場所に物を放置しない、床面の汚れを取り除く、凹凸、段差の解消）
- ・転倒しにくい作業方法（時間に余裕を持って行動、滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行、足元が見えにくい状態で作業しない）
- ・その他の対策（移動や作業に適した靴の着用、職場の危険マップの作成による危険情報の共有、転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起）

STOP! 転倒災害

群馬労働局 労働基準部 健康安全課



群馬県のマスコット {ぐんまちゃん}
許諾第 30-100152 号

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。

職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。

できるところから少しずつ取り組んでいきましょう!!

テントウムシ
(転倒無し) 運動
実施中!!



平成30年における「転倒災害」は、休業4日以上[※]の労働災害の中で**20.7%**を占め、**ワースト1位**となっています。

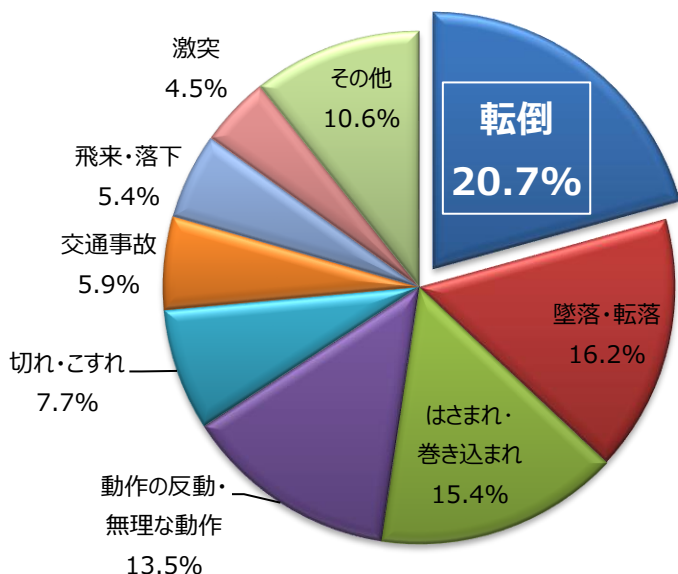


図-1 全産業での事故の型別労働災害発生状況 (平成30年)
資料: 労働者死傷病報告

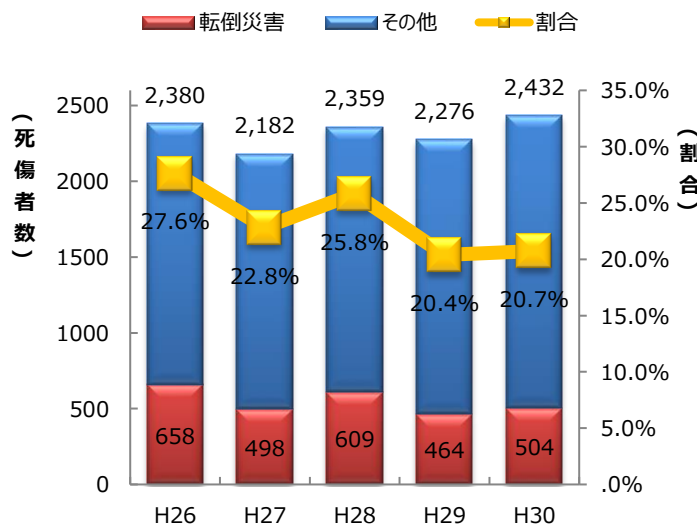


図-2 転倒災害の年別推移 (平成26年~平成30年)
資料: 労働者死傷病報告

業種別では、製造業 141 件（28.0%）、保健衛生業 88 件（17.5%）、商業 69 件（13.7%）、接客娯楽業 59 件（11.7%）で、これらの業種で**全体の 7 割以上**を占めています。

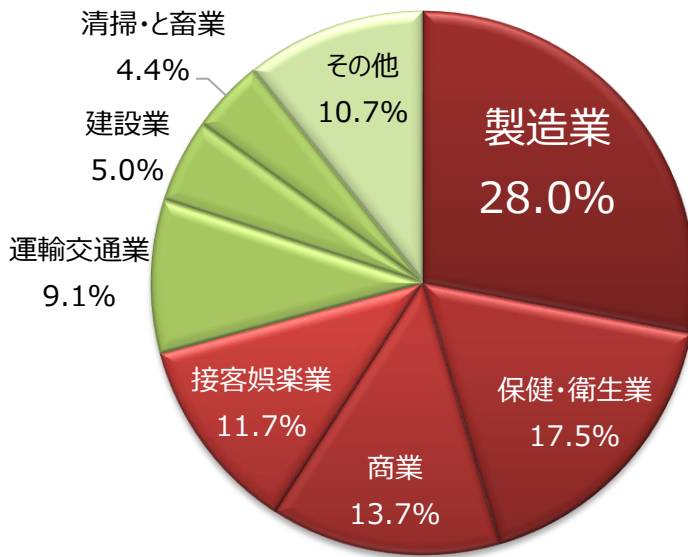


図-3 業種別労働災害発生状況（平成 30 年）
資料：労働者死傷病報告

「転倒災害」は**50歳以上**で**全体の約 7 割**を占めています。これは加齢による体力の衰え・身体機能の低下が考えられます。また、一般的に女性は男性より筋肉量が少ないこともあるため、転倒時の衝撃を和らげることができず、まともに大きな衝撃を受けやすいので注意が必要です。

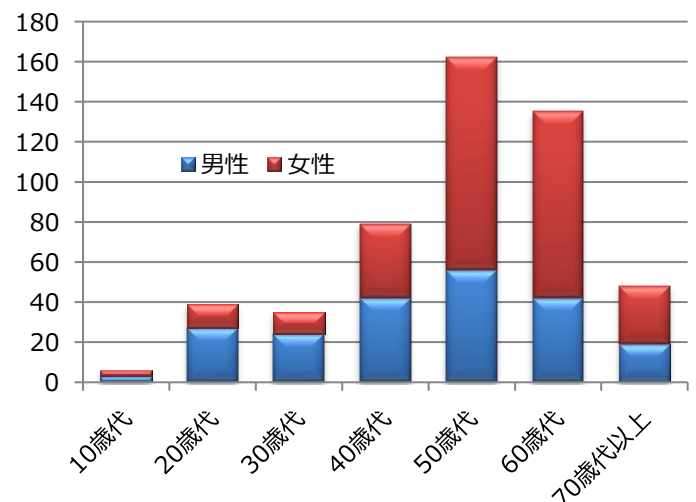
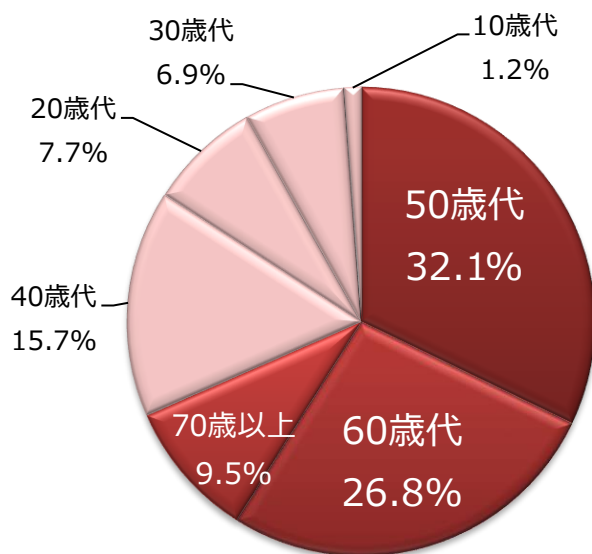


図-4 転倒災害における年代別労働災害発生状況（平成 30 年）
資料：労働者死傷病報告

図-5 転倒災害における年代別性別労働災害発生状況（平成 30 年）
資料：労働者死傷病報告

転倒災害の約 6 割は、「**通路**」(46.8%)や「**作業床**」(13.1%)で発生しています。

転倒災害は、通路や作業床、地面等が**水、油、雪**等で濡れていることによる**滑り**(39.7%)、通路等に置いてある**物等**への**つまずき**(31.0%)で **7 割以上**を占めています。

転倒災害の発生場所(起因物別)

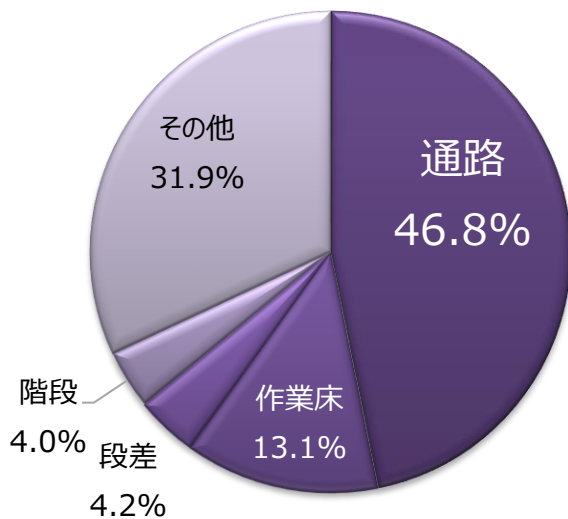


図-6 転倒災害の主な発生場所(起因物) (平成 30 年)
資料: 労働者死傷病報告

転倒災害の発生原因

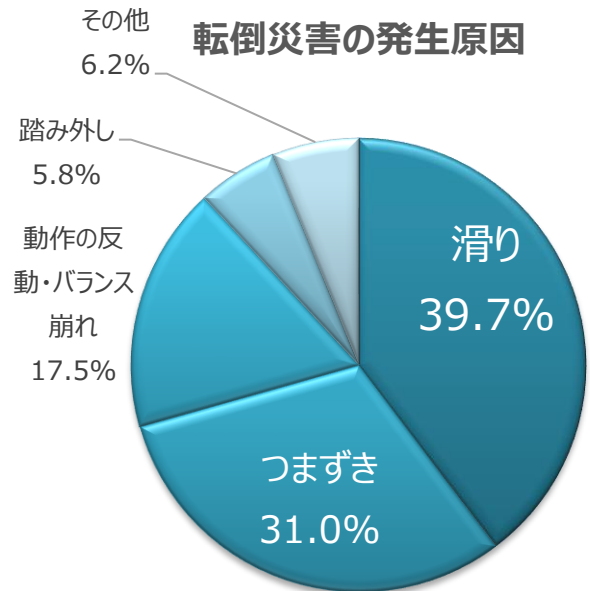


図-7 転倒災害における労働災害発生原因 (平成 30 年)
資料: 労働者死傷病報告

日頃から意識して転倒災害を防止しましょう！

- **4 S (整理・整頓・清掃・清潔) を徹底しよう！**
歩行場所に物を放置しない、床面の汚れを取り除く
床面の凸凹、段差の解消
- **転倒しにくい作業方法を実施しよう**
時間に余裕を持って行動、滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
足元が見えにくい状態で作業しない
- **その他**
移動や作業に適した靴の着用
職場の危険マップの作成による危険情報の共有
転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起



あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！